

平成29年度前期選抜の選抜・評価方法

学校番号2

千葉県立千葉女子高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

学習成績が優秀で、中学校生活全般にわたり特に積極的な取り組みを行った者。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者5名・面接官3名の集団面接 (1グループ15分)

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科 (各教科100点満点) の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	①3カ年皆勤については評価する。 ②各学年において20日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数を評価する。○が2個以下の場合は審議の対象とする。
エ 特別活動の記録 部活動の記録 特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については評価する。
オ 総合所見	総合的に判断するときの資料とする。

(3) 面接

評価項目	評価基準
面接の内容等	面接官3名で5名の受検者に約15分間の集団面接を実施し、各面接官がa～cの3段階で評価する。さらに総合評価としてA、Bの2段階で評価する。評価Bは審議の対象とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき、「学力検査の成績」、「調査書」、「面接」等を総合的に判断して入学許可候補者の選抜を行う。

「学力検査の得点」、「調査書の得点」の総合計により順位を付け、調査書・面接で審議対象となる点がある場合は慎重に審議しながら、入学許可候補者を内定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。

5 その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面談を行う。

平成29年度前期選抜の選抜・評価方法

学校番号2

千葉県立千葉女子高等学校 全日制の課程 家政科

1 期待する生徒像

次のすべてを満たす者

ア 学習成績が優秀で、中学校生活全般にわたり特に積極的な取り組みを行った者。

イ 家政科を希望する動機が適切で、家庭科の授業に興味や関心がある者。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 適性検査	適性検査の結果

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	①3カ年皆勤については評価する。 ②各学年において20日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数を評価する。○が2個以下の場合は審議の対象とする。
エ 特別活動の記録 部活動の記録 特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については評価する。
オ 総合所見	総合的に判断するときの資料とする。

(3) 適性検査

一斉形式による適性検査（小学校・中学校で学習する被服に関する実技を伴う検査）を30分実施し、60点満点で評価する。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき、「学力検査の成績」、「調査書」、「適性検査」等を総合的に判断して入学許可候補者の選抜を行う。

「学力検査の得点」、「調査書の得点」、「適性検査の得点」の総合計により順位を付け、調査書で審議対象となる点がある場合は慎重に審議しながら、入学許可候補者を内定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面談を行う。

平成29年度後期選抜の選抜・評価方法

学校番号2

千葉県立千葉女子高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	①3カ年皆勤については評価する。 ②各学年において20日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数で評価する。○が2個以下の場合は審議の対象とする。
エ 特別活動の記録 部活動の記録 特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については評価する。
オ 総合所見	総合的に判断するときの資料とする。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

平成29年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項に従い、A組となる者は入学許可候補者とする。A組に属さない者はB組とし、算式2で求めた数値で順位付けをして、「学力検査の成績」、「調査書」を資料とし、総合的に判定する。
--

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいししない。
--

4 その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面談を行う。

*前期選抜で入学許可候補者に内定した者のうち入学確約書を提出した者の数が、募集定員を満たした学科については、後期選抜を実施しませんでした。

平成29年度後期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号2

千葉県立千葉女子高等学校 全日制の課程 家政科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	①3カ年皆勤については評価する。 ②各学年において20日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数で評価する。○が2個以下の場合は審議の対象とする。
エ 特別活動の記録 部活動の記録 特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については評価する。
オ 総合所見	総合的に判断するときの資料とする。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

平成29年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項に従い、A組となる者は入学許可候補者とする。A組に属さない者はB組とし、算式2で求めた数値で順位付けをして、「学力検査の成績」、「調査書」を資料とし、総合的に判定する。
--

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。
--

4 その他

過年度卒業生については、検査終了後、別途個人面談を行う。
